

講義名	研究演習（全学部）		
講義コード	25221	授業形態	
担当教員	長坂 泰之	開講期・曜日・時間	後期 火曜日 5時限
		ゼミバリエーションコード	SEM250

学部・学科	演習分野
全学部全学科	地域と商業まちづくり ー個の経営&地域・まちの経営を実践的に学ぶー

概要説明

研究演習： ・ ・ ・及び卒業論文について（全学共通事項）
研究演習： ・ ・ ・および卒業論文まで、原則として同一教員のもとで継続して指導を受けることになります。以下を熟読してゼミ選択の際の参考にしてください。

1. 研究演習の募集について
長坂ゼミナールは、8年目のゼミです。この7年間で様々な活動を行ってきました。
(1)概要
長坂ゼミナールでは、
商業を中心に、「社会の現場を五感で感じることを通じて、みせの価値、まち（地域）の価値、そして自分自身の価値について、教員、ゼミ生とともに学びます」
このような方針なので、
ゼミを通じて自らの可能性を信じて意欲的に行動しようとするチャレンジングな学生を求めます。

具体的には、
商業を中心に・・・小売業、飲食・サービス業、ショッピングセンター、商店街、中心市街地エリア等を対象とします。
社会の現場を五感で感じる・・・可能な限り現場に出てキーマンに会い、そして実体験を聞く。講義は教科書ではなく現場にあります。
みせの価値、まちの価値・・・厳しい経営環境の中で、生き残っているみせ、まちには、必ず差別化された価値が存在します。そこから学ぶことに意味、意義があります。
自分自身の価値・・・の現場、あるいは教員、ゼミ生間との活動を通じて、自分自身の価値を考えます。
チャレンジングな学生を求める・・・「失敗を怖れないこと」が入ゼミの大きな条件です。過去がどうだったかは問いません。「これまでのことはどうでもええやん」。人生100年時代。これからの80年を充実させることが大事です。

(2) 社会共創活動（大学のホームページを見て活動内容を確認しておいてください）
社会との関わりを持つ「社会共創活動」に積極的に取り組んでいます。大学から認定を受けて補助をいただきながら活動する活動です。
【過去の社会共創活動】
2019年 千林商店街100円商店街出店及び後方支援並びにダイエーの歴史文化展示
2020年 元町商店街連合会の消費者アンケート調査等各種アンケート調査及び提言の作成
2020年 新型コロナウイルスの影響についての緊急アンケート（元町商店街連合会）
2020年 千林商店街におけるダイエーの歴史文化展示(クイズ)（元町商店街連合会）
2020年 『社会人基礎力育成グランプリ』参加(特別賞受賞)
2021年 千林商店街におけるダイエーの歴史文化展示(クイズ)
2022年 神戸平野エリアKIKKAKEプロジェクトとのコラボレーション
2022年 高田松原周辺に來訪する観光客にいかにしてまちなかに来ていただくか
2022年 神戸元町商店街連合会未来会議「元町魅力アップ事業（仮称）」に係る産学連携の取り組み
2022年 千林商店街におけるダイエーの歴史文化展示(クイズ)
2023年 カフェ空間への出店体験による地域への貢献を通じた社会人基礎力養成(神戸平野商店街)
2023年 神戸から陸前高田市学園祭がやってきたー神戸の学生と一緒に盛り上がりー
2023年 カフェ空間への出店体験による地域への貢献を通じた社会人基礎力養成(神戸平野商店街)
2024年 神戸の台所「東山商店街」を賑やかに！商店街と連携して夜祭り「夜市」を共創する
2024年 須磨パティオがお客様にとって居心地の良い空間となる（主に通商面）ための社会共創活動
2024年 高田まちなかセンターを有効活用するものとするために（陸前高田市）ー持続的経済と土地の利活用に向けてー
2024年 カフェ空間への出店体験による地域への貢献を通じた社会人基礎力養成(神戸平野商店街)
2025年 平野商店街の個店の魅力の情報発信を通じた地域貢献(平野商店街振興組合)
2025年 まちなか会ワークショップ企画・運営・参画ー津波被災市街地の生き残りのための方策とともに探るー(岩手県陸前高田市)
2025年 カフェ空間への出店体験による地域への貢献を通じた社会人基礎力養成(平野商店街KIKKAKE)
2025年 カフェ等の飲食店等の出店体験による地域への貢献を通じた社会人基礎力養成

みなさんの人生をどうマネジメントするかはみなさん次第です。ゼミ活動を通じて、自分たちの未来を考えましょう。

(3)ゼミ合宿（社会共創活動）

主な卒業論文のタイトル

(ゼミ生と相談しながら希望するテーマを探しています)
大規模災害被災地に対する復旧・復興時における流通科学大学による支援の可能性(ボランティア活動をイメージして)
アメの聖地巡礼が地域活性化に与える影響
マイクロリズムを見据えた神戸市が観光都市として選ばれるための条件の検討
現在の人材派遣業界（携帯販売）の動向と今後について
日本におけるヤングケアラーの実態及び今後の在り方について
国内eスポーツ市場の新たな価値についての研究
ダイエー発祥の地（千林商店街）及び津波被災地（陸前高田市）の支援等を通じて得たこと
衰退した商店街のカフェ空間への出店を通じて得た気づき
東日本大震災による陸前高田市の市街地の被災から復興まで
ー長坂ゼミによる来街者アンケート調査結果を中心にー
就職活動におけるやる気低下の原因の究明とやる気のコントロール方法の構築
ボランティア継続する動機要因の比較ー学生と社会人の比較の視点からー

卒業論文の作成は任意ですが、2年次、3年次に目的を持って活動したゼミ生は、その集大成として論文をまとめることは容易だと思います。

教員からの要望

社会はどんな人間を求めているのでしょうか？私たちの価値ってなんですか？私たちの役割ってなんですか？職人・芸術家などの磨かれた「個性」を持つ職業の方でも社会との関わりを断つことはできません。
ある組織の新人採用の面接官は、以下のような視点から社会への適合力を判断すると言っています。
学生時代に自分かやりたことをやりましたか？ 前向きな思考力・行動力
学生時代に様々なハードルを越えてきたか？ ストレスに対する適応力
学生時代に様々な活動に参加してきたか？ チャレンジ精神とコミュニケーション能力

みなさんの人生はこれから。みなさんにはこれからの皆さんのチャンス、何らかのビッグウェーブが訪れると思います。そのチャンスをしっかりと掴み取ることできるか。それを可能とするのは皆さん次第です。そのためには、学生時代にたくさんチャレンジをして、たくさんの失敗を経験することがとても大事です。長坂ゼミは活動が活発です。ただしコロナ災禍においては、その状況を踏まえたうえで適切に活動します。

最後に、長坂ゼミはチームでの作業をすることが多いので皆勤を基本としています。積極的でない、欠席しがちな学生は選択をしない方がよいと思います。

選考方法

個別ガイダンスには必ず参加してください。長坂研究室で（研究等 306号室）でガイダンスとともに面接を行います（複数回実施する場合もあります）。面接では、自己紹介、大学生活ややりたいこと、ゼミへの期待などについて話を聞きます。自分なりに準備をしてきてください。
長坂ゼミは共同作業が多く発生します。集団での活動への自主的、積極的な協力は欠かせません。遅刻や欠席は他のゼミ生の迷惑となります。この点についても面接で確認します。
チームへの貢献する姿勢がない、メンバーの個性を尊重しない、欠席、遅刻、早退をする学生は当ゼミは難しいと思います。逆に、人生経験は浅くても、失敗を恐れずに、仲間と仲良くしたいと考えられる学生は大歓迎です。

評価方法

ゼミ活動において、ディスカッションでの積極的な姿勢、目標に対する取り組み姿勢など、失敗を怖れない積極的な姿勢を高く評価します。また、チームへの貢献度も高く評価します。
集団で行動することが多いので、欠席、遅刻、早退は認めません。
チームへの貢献が認められない、メンバーの個性を尊重しない、欠席、遅刻、早退をする学生はゼミを継続することが難しいと思います。

1. 卒業論文の成果物
卒業論文の成果物として、以下のいずれかを提出する。
(1) 研究分野
その研究分野の演習分野である地域と商業まちづくりに関する研究
学生の興味の延長線上の研究

到達目標・成果物

地域・商業・まちづくりの現場に主体的に関わり、企業や地域の課題を自ら発見し、関係者と協働して解決策を企画・実行できる力を養う。
フィールドワークや実践活動を通じて、現場理解力、コミュニケーション力、企画運営力を高めるとともに、自らの価値観と役割を見つめ直し、社会に貢献する主体として行動できる基礎的な実践力を身につける。

教員英字氏名	研究室
Yasuyuki Nagasaka	研究棟 3階 306研究室

最終学歴

横浜国立大学 大学院 都市社会文化研究科 博士後期課程修了

学位

博士（学術・都市社会文化専攻） 博士論文：東日本大震災の津波被災市街地における商業集積の復興

主な研究活動・社会活動・研究業績

著書
復興 陸前高田 セロからのまちづくり（2022年）（日本建築学会学術賞受賞、土木学会学術賞受賞）
中心市街地活性化のツボ（2011年）
東日本大震災の復興、復興期における商業集積政策に関する研究-阪神・淡路大震災との比較を中心に-（日本都市計画学会 / 2018年）
次代に向けた中心市街地の商業活性化事業の在り方についての研究（文教大学商総合研究所 / 2017年）
中小小売業と大企業との共存と協調。ー中小商業に対する近年の商業振興政策と中小事業者の取り組みー（韓国流通学会学術大会 / 2018年）

論文・学会報告
気づきの教育の実践と効果ー学生のカフェ空間への出店体験を通じてー（流通科学大学紀要論文 / 2022年度、予定）
東日本大震災の津波被災市街地における商業集積の復興プロセスに関する研究（横浜国立大学大学院都市社会文化研究科博士論文 / 2020年度）
コロナ禍は商店街にいかなる影響を与えたか、緊急事態宣言期における神戸元町商店街実態調査より。（流通科学大学紀要論文 / 2020年度）
東日本大震災の復旧、復興期における商業集積政策に関する研究-阪神・淡路大震災との比較を中心に-（日本都市計画学会 / 2018年）
次代に向けた中心市街地の商業活性化事業の在り方についての研究（文教大学商総合研究所 / 2017年）
中小小売業と大企業との共存と協調。ー中小商業に対する近年の商業振興政策と中小事業者の取り組みー（韓国流通学会学術大会 / 2018年）

社会活動
地域活性化伝道師（内閣府）
陸前高田市復興アドバイザー
陸前高田市まち・ひと・しごと総合戦略策定会議委員
中小機構中心市街地サポートアドバイザー
関西ネットワークシステム（KNS、産学官民連携組織）世話人
近畿中心市街地活性化ネットワーク研究会組成人

趣味・特技

テニス（学生時代はスクールのコーチだったかも）
パル（パル街）巡り（日本全国に飲食店とヒトを繋ぐイベント「パル」がたくさん開催されています。なかでも特に関西に多いです）
全国の仲間会いに行くこと（全都道府県に訪問各地にたくさん仲間がいます）
まち歩き、路地裏・盛り場探訪（北海道から沖縄まで、全国津々浦々のまちを歩いています）

所属

中小企業診断士（経済産業省）
地域活性化伝道師（内閣府）

所属学会

日本商業学会
日本都市計画学会
日本中小企業学会

専門分野

流通政策
商業まちづくり、中心市街地再生、タウンマネジメント、エリアマネジメント
中小小売商業支援、中小企業経営診断、中小企業経営、起業・創業支援
震災復興支援（阪神・淡路大震災、東日本大震災他）

担当科目

研究演習関連
研究演習、研究演習、卒業研究、専門基礎演習
流通関連
流通科学入門、流通概論、流通政策、教養特講（流通）、教養特講（マーケティング学科へのいざない）
経済学
中小企業経営論、ベンチャービジネス論

備考

実務経験の有無及び活用

実務経験あり。
教員が「中心市街地活性化のツボ」に掲載されている20以上の事例は自ら実務として関わった事例もしくは現場でのヒアリングをもとにその成功要因などを分析したものです。
また、著書「復興 陸前高田」は津波被災地陸前高田市の被災から復興まで被災地の皆様とともに歩んだ道のりを記録したものです。
実務経験は、国の中小企業・地域政策実施機関である独立行政法人中小企業基盤整備機構に30年以上在籍、中小企業の融合化（産学官連携）、人材育成（中小企業診断士養成、中小企業経営後継者育成等）、インキュベーション（起業・創業）運営、流通団地、工業団地、中心市街地、商店街、共同店舗（以上、産業集積）、中小小売業の経営診断の経験あり。流通の現場の実感を伝えます。経済産業省登録中小企業診断士。内閣府地域活性化伝道師。